

2020年11月4日

公益財団法人 SOMPO環境財団

2020年度環境分野の博士号取得支援「学術研究助成」助成先の決定

公益財団法人SOMPO環境財団（理事長：二宮雅也、以下「SOMPO環境財団」は、国内の大学院博士課程に所属する研究者を対象とした「学術研究助成」制度の2020年度助成先10件を決定しました。

なお、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、研究に支障をきたす大学院生を支援するため、例年5名の助成対象数を10名に増やして、助成を行うこととしています。

1. 学術研究助成の概要

弊財団の学術研究助成制度は、環境をテーマとする意欲に満ちた優秀な若手研究者を支援し、「総合学としての環境学」の確立に寄与することを目指して、2001年からスタートしています。国内の大学院博士課程に在籍する35歳以下の研究者の環境分野の研究を対象としており、2019年度までに合計92名の方に助成を行なっています。

（助成実績）https://www.sompo-ef.org/academic/academic_kako.html

2. 助成決定先

別紙「2020年度助成先」参照

3. その他

制度の詳細につきましては、SOMPO環境財団の公式ウェブサイトをご参照ください。

<https://www.sompo-ef.org/academic/academic.html>

以上

(別紙) 2020年度助成先 (助成額: 1名あたり30万円限度)

申請者	所属大学院名	研究テーマ
熊丸 博隆	神戸大学大学院 経済学研究科	日本におけるプラスチック循環利用の経済学的研究
王 佳星 (オウカセイ)	青山学院大学大学院 経済学研究科 経済学専攻	家計部門の省エネ対策への新たな検討 —世界のエネルギー利用と省エネ投資に関する考察—
柯宣均 (コイジュン)	東北大学大学院 経済学研究科	Impact of Climate Change on Agriculture Sector in Japan
小張 真理子	筑波大学大学院 人文社会学研究科	持続可能な開発としてのアグロエコロジーの可能性 —里山保全と先住民支援の考察—
秋山 公平	早稲田大学大学院 法学研究科	自由貿易協定に含まれる環境条項の実施過程 に関する研究
川尻 剛士	一橋大学大学院 社会学研究科	水俣病被害地域の人間形成に関する史的研究
野村 魁	東北大学大学院 経済学研究科	気候変動による病害虫被害への影響と水稻の 収穫・品質への影響に関する実証研究
高橋 知花	東北大学大学院 文学研究科	森林の過少利用問題への社会学的研究 —地域共同管理の視点から—
田中 瑠莉	京都大学大学院 人間・環境学研究科	国家とマオリによる絶滅危惧種タカへの共同管 理に関する人類学的研究
植松 康成	横浜国立大学大学院 環境情報学府	サクラマスの種苗放流(サロゲート)を教材とした 生物保全教育プログラムの開発

以上